

公益社団法人 日本図書館協会 図書館情報学教育部会

会 報

第 122 号

2018（平成 30）年 7 月 15 日発行 編集・発行 図書館情報学教育部会

目 次

| | |
|--------------------------------|---|
| 2018 年度 図書館情報学教育部会総会が開かれました | 2 |
| 2017 年度 図書館情報学教育部会第 2 回幹事会議事要旨 | 4 |
| 2017 年度 図書館情報学教育部会第 3 回幹事会議事要旨 | 6 |
| 2018 年度 図書館情報学教育部会第 1 回幹事会議事要旨 | 6 |

2018 年度 図書館情報学教育部会総会が開かれました

日 時：2018 年 6 月 3 日（日）12：00～12：45

場 所：日本図書館協会会館

出席者：14 名 委任状提出者 34 名 計 48 名

1. 会勢報告

2018 年 5 月 31 日現在で図書館学教育部会員が 178 名、総会成立要件が 18 名の出席（委任状含む）であるとの報告ののち、出席者 14 名、委任状提出者 34 名、計 48 名が確認され、総会が成立することが報告された。

2. 議長・議事録署名人の選出

矢崎美香氏を議長に、大石正人氏を議事録署名人に選出した。

3. 議事

1) 2017 年度活動報告

小田光宏部会長より、配布資料（◆2018 年度総会資料 議案①参照）に基づき 2017 年度活動報告があり、異議なく了承された。

2) 2017 年度会計決算報告・会計監査報告

松本直樹幹事（会計担当）より、次頁の表 1 に基づいて、

2017 年度会計決算報告があった。部会員より、指定寄附の扱いについて質問が寄せられた。

松本幹事より、部会活動を指定した寄附を含め、協会への寄附はすべて協会の口座で一括管理されること、部会指定の寄附金の使途が決定している場合には予算計画において計上するが、2017 年度はその予定がなかったため 0 円であることの説明があった。また小田光宏部会長より、当該欄は協会で管理されている部会指定の寄附金を引き出した際に用いられるものであるとの補足説明があった。以上の説明ののち、了承された。

3) 2018 年度事業計画案

小田光宏部会長より、配布資料（◆2018 年度総会資料 議案③参照）に基づいて、2018 年度事業計画案の説明があった。松本幹事より、第 104 回全国図書館大会分科会は、「2018 年 10 月 20 日（金）」となっているが、10 月 20 日土曜日の開催であること、また開催場所は「国立青少年オリンピックセンター」となっているが、正式には「国立オリンピック記念

表 1. 2017 年度（平成 29 年度）決算報告

| | | 費目 | 予算 | 決算 |
|------|-------|----|---------|---------|
| 収入の部 | 部会活動費 | | 370,000 | 370,000 |
| | 参加費 | | 40,000 | 74,500 |
| | 寄附金 | | 0 | 0 |
| | 雑収入 | | 0 | 0 |
| | 計 | | 410,000 | 444,500 |
| 支出の部 | 会場借料 | | 0 | 0 |
| | 旅費交通費 | | 240,000 | 249,000 |
| | 通信運搬費 | | 10,000 | 0 |
| | 消耗品費 | | 0 | 5,503 |
| | 諸謝金 | | 160,000 | 40,092 |
| | 印刷製本費 | | 0 | 1,122 |
| | 会議費 | | 0 | 7,480 |
| | 計 | | 410,000 | 303,197 |

青少年総合センター」であることが補足され、修正のうえ了承された。

4) FD（ファカルティ・ディベロップメント）プログラムの実施及び周知

大谷康晴幹事（FD プログラム担当）より、配布資料

（◆2018 年度総会資料）議案④参照）に基づき、「図書館情報学教育 FD プログラム（仮称）」について説明があり、異議なく了承された。

5) 2018 年度予算案

松本直樹幹事（会計担当）より、表 2 に基づいて、2018 年度会計予算案が示された。

部会員より、収入の部の寄附金（指定寄附）および雑収入欄に 0 が必要であるとの指摘があった。また、2017 年度に第 2 回研究集会の FD プログラム活動に関連して、消耗品費、印刷製本費がそれぞれ 5,503 円、1,122 円使用され、2018 年度も見込まれることから、予算にも計上したほうがよいのではないかとの意見があった。

後者について、他の部会員からも賛同の意見が寄せられたことから、諸謝金の 16 万円を 15 万円、消耗品費、印刷製本費をそれぞれ 5 千円とする案が提示された。前者の修正も含め、原案を修正のうえ了承された。

表 2. 2018 年度（平成 30 年度）予算案

| | | 費目 | 金額 | 摘要 |
|------|-------|----|---------|----|
| 収入の部 | 部会活動費 | | 400,000 | |
| | 参加費 | | 40,000 | |
| | 寄附金 | | 0 | |
| | 雑収入 | | 0 | |
| | 計 | | 440,000 | |
| 支出の部 | 会場借料 | | 0 | |
| | 旅費交通費 | | 270,000 | |
| | 通信運搬費 | | 10,000 | |
| | 消耗品費 | | 5,000 | |
| | 諸謝金 | | 150,000 | |
| | 印刷製本費 | | 5,000 | |
| | 会議費 | | 0 | |
| | 計 | | 440,000 | |

6) その他

部会員より、2017 年度第 2 回研究集会での FD プログラムを踏まえ、今後教員でない部会員が傍聴して参加できるようにしてもらいたいこと、また事業活動の 1 つとして、引き続き図書館見学を組み込むのもよいのではないかとの意見が寄せられた。

◆2018 年度総会資料

議案① 2017 年度活動報告

I 事業、活動、研修、シンポジウム、集会等

公益社団法人日本図書館協会図書館情報学教育部会（以下、当部会）では、例年同様に、図書館情報学教育のあり方や、司書や司書教諭、学校司書をはじめ図書館に関わる人びとの養成の課題への取り組みを中心に活動を展開した。定例 2 回の研究集会を開催し、全国図書館大会で分科会を実施した。

【研究集会】

①2017 年度第 1 回研究集会（2017 年 6 月 4 日（日）、日本図書館協会 2 階研修室）

テーマ：現職者も視野に入れた学校司書の養成

内容：報告「モデルカリキュラムの質保証」大谷康晴（日本女子大学）

事例報告(1)「学校司書モデルカリキュラム実施校による報告」安形輝（亜細亜大学）

事例報告②「通信制大学における学校司書に向けたリカレント教育」野口久美子（八洲学園大学）

参加者：46名（講師・幹事等の関係者を含む）

②2017年度第2回研究集会（2018年3月11日（日），京都女子大学A401教室）

テーマ：図書館情報学教育におけるアクティブ・ラーニング

内容：事例報告「図書館の情報発信における問題発見学習の試み—図書館 SNS の調査と分析—」角田裕之（鶴見大学）

事例報告「司書課程におけるアクティブ・ラーニングの取り組み」坂下直子（京都女子大学非常勤講師）

報告「図書館情報学教育FDプログラムについて」大谷康晴（日本女子大学）

動向報告「文部科学省の組織改編がもたらす図書館情報学教育への影響」松本直樹（慶應義塾大学）

参加者：23名（講師・幹事等の関係者を含む）

【全国図書館大会】

第103回全国図書館大会第7分科会（2017年10月13日（日），国立オリンピック記念青少年総合センター403教室）

テーマ：図書館情報学教育の広がり可能性—日本図書館情報学会の調査報告を基にして—

共催：日本図書館情報学会

内容：基調報告「図書館情報学教育に資する事業ワーキンググループ調査報告書にみる図書館情報学教育の現状」浅石卓真（愛知淑徳大学人間情報学部）

報告①「図書館情報学の広がり意識した教育—筑波大学の事例から—」宇陀則彦（筑波大学図書館情報メディア系）

報告②「デジタル人文学から図書館情報学教育に期待すること」永崎研宣（一般財団法人人文情報学研究所）

参加者：60名（講師・幹事等の関係者を含む）

II. 活動部会総会

日時：2017年6月4日（日）12:00～12:45 於：日本図書館協会2階研修室

出席者：17名，委任状提出者26名（部会員総数189名：定足数を満たし，成立）

議長：青柳英治（明治大学）

議事録署名人：安藤友張（実践女子大学）

議題：2016年度活動報告，2016年度決算報告，2017年度

活動計画，2017年度予算案

III. 刊行物（報告書，資料，パンフ，ポスター等）

『会報』第117～120号の発行（編集担当：小山憲司（中央大学，部会幹事））

『会報』は会員にメールリストで配信後，Webサイトで一般公開している。

VI. 幹事会の開催

〔第1回〕2017年6月4日（日）於：東京
部会長，幹事7名

〔第2回〕2017年10月13日（日）於：東京
部会長，幹事6名

〔第3回〕2018年3月11日（日）於：京都
部会長，幹事8名

近年，通常の連絡事項はメールリストを活用している。

V. その他の事業活動

○指定寄附の呼びかけ

2017年度中，20件167,000円（部会分133,600円）の寄附が寄せられた。3,000円以上の寄附者には，研究集会参加費を免除した。

議案② 2017年度決算報告

p.2「表1 2017年度（平成29年度）決算報告」参照

議案③ 2018年度活動計画（案）

(1) 活動部会総会（2018年6月3日（日））

(2) 2018年度研究集会（2回：第1回2018年6月3日（日），第2回未定）

(3) 第104回全国図書館大会分科会（2018年10月20日（土）於：国立オリンピック記念青少年総合センター）

(4) FDプログラムの実施及び周知

(5) 関係諸団体との共催

(6) 『会報』電子版の発行，Webサイトでの活動周知

(7) 次期部会長の選考

(8) 幹事会の開催

議案④ FD プログラムの実施および周知

FD プログラムについて

名称：図書館情報学教育 FD プログラム（仮称）

要件：以下の要素を備えたものとする。

- ・ 2-3時間のプログラムとする
- ・ 図書館情報学に関する教科内容、教材、教授法について取り上げているものとする
- ・ グループディスカッションなりワークショップなり出席者が何らかの活動を行うものとする
 - 事例報告や基調報告は合わせて2つ程度として、出席者の活動時間を確保すべきではないか
- ・ 図書館情報学教育部会員を対象にする（複数の活動部会に所属可能であることを周知させる）
- ・ 最低年1回開催する
 - 従来の研究集会で開催できない場合も、全国図書館大会で半日×2の形態で開催し、1つを充てるなどして確保する
 - 2年で3回程度開催できればよいのではないか
- ・ 部会員の受講者に受講証明書（修了証）を発行する
 - 定型の様式をもとにプリントアウトしたものを発行する

- 事前申込者には氏名の差し込み印刷で、当日参加者には氏名を手書きで記入したものとする
 - 規定回数以上の受講者には、賞状の発行も考える
- 参加者の情報管理について：上記の受講証明書の発行のため、従来以上の参加者情報の管理が必要である。

- ・ 申し込み時に証明書の発行の希望も確認する
- ・ 受講者の同定ができるように申し込み時に氏名・所属について入力してもらう
- ・ 当日参加者の分も含めて、出欠の記録を厳格に行う（参加者一覧のスクランデータでも構わない）
- ・ 日図協で導入が予定されているクラウドのファイルストレージに加わって、参加者の情報のある程度長期にわたって保存できるようにしておく
- ・ 参加者リストを公開する（公開を希望されない会員がいた場合非公開を許可するか否か）

議案⑤ 2018年度予算（案）

p.2「表3 2018年度（平成30年度）予算案」参照

議案⑥ その他

2017年度 図書館情報学教育部会 第2回 幹事会 議事要旨

日時：2017年10月13日（日）17:00～18:00

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

出席者（五十音順、敬称略）：

小田光宏、小山憲司、下田尊久、角田裕之、松本直樹、
山中秀夫、渡邊由紀子

議題

- (1) 第104回全国図書館大会分科会の担当
 - ・ 担当者は、角田氏と小山氏とする。
 - (2) 第2回研究集会の企画
 - ・ 内容はFDプログラムとするが、会員への十分な周知期間が必要であり、今年度は試行とする。
- ・ 受講証明書を試行として作成する。
 - ・ 内容は次の3つを計画する。このうち、2つめは角田氏が担当する。司会進行は大谷氏が担当する。幹事は、1つめの担当者をMLで推薦する。
 - アクティブ・ラーニングの基礎理論を学ぶ
 - 図書館情報学教育（司書課程）における事例報告
 - グループディスカッション
 - ・ 会場の第一候補を京都女子大学とする。坂本氏に確認する。
 - ・ 日程は、2018年2月下旬から3月上旬の土曜日を予定する。

2017年度 図書館情報学教育部会
第3回 幹事会 議事要旨

日時：2018年3月11日（日）17:25～18:00

場所：レストラン&喫茶 SAKA（京都市東山区）

出席者（五十音順、敬称略）：

小田光宏、大谷康晴、小山憲司、坂本俊、下田尊久、
角田裕之、松本直樹、山中秀夫、渡邊由紀子

議題

（1）2018年度第1回研究集会

- ・ 日程は第一候補6月3日（日）、第二候補6月2日（土）とする。JLA会館が使用可能かを大谷氏が確認する。
- ・ テーマは「大学図書館職員の養成」を予定し、「大学図書館の整備について（審議のまとめ）」等を踏まえる。
- ・ 担当者は坂本氏、小山氏とする。

（2）第104回全国図書館大会分科会

- ・ 日程は10月20日（土）とする。
- ・ テーマは「司書教諭養成のこれから」を予定し、学校司書養成の進展等を踏まえる。
- ・ 担当者は角田氏、松本氏とする。

（3）部会長選考の担当者

- ・ 下田氏が担当する。

（4）2018年度第2回研究集会

- ・ 内容はFDプログラムを予定する。
- ・ FD関連は大谷氏が担当する。
- ・ 日程は2019年3月11日の週を候補の1つとして、今後調整する。
- ・ 同日に臨時活動部会総会を開催し、部会長選考を実施する。

2018年度 図書館情報学教育部会
第1回 幹事会 議事要旨

日時：2018年6月3日（日）16:45～18:00

場所：日本図書館協会2階研修室

出席者（五十音順、敬称略）：

小田光宏、大谷康晴、小山憲司、坂本俊、下田尊久、
角田裕之、松本直樹、山中秀夫、渡邊由紀子

議題

（1）第104回全国図書館大会分科会

- ・ 日時、場所、テーマ、講師等について角田氏から説明があった。
- ・ 旅費について、分科会運営委員枠は下田氏とし、他の幹事は部会から規定額を支出する。
- ・ 日本図書館情報学会に共催を提案する。

（2）第2回研究集会の担当

- ・ 日程は、2019年3月11日の週とする。
- ・ テーマはFD関係とする。
- ・ 担当者は大谷氏、小山氏とする。
- ・ 同日に臨時活動部会総会を開催し、部会長選考を実施する。

（3）次期部会長の選考

- ・ 日程は、前回（2016年度）よりも1ヶ月程度前倒しで進める。
- ・ 図書館情報学教育部会規程（抄）で選任、任期の規程を確認した。
- ・ 委員長候補者は、荻原氏を第一候補とし、下田氏から打診する。

(4) FDプログラムの実施および周知

- ・ 今後、詳細をつめていく。

(5) 研究集会等の参加申込方法及び名簿リスト管理

- ・ 研究集会等の参加申込方法は、Google フォームを使用する。
- ・ Google フォームの使用にあたり、現在は幹事個人のアカウントで作成しているため、教育部会(kyoiku@jla.or.jp)のアカウントでGoogleのアカウントを作成し、幹事に編集権限を付与することで運用する(担当:松本氏)。

- ・ FDプログラムの参加者管理は、当面の間、JLA契約のストレージサービスを用いて、教育部会幹事が行う(JLAでは今年度中をめどにクラウドストレージを導入予定)。

- ・ FDプログラムの参加者管理をはじめ、会員管理は協会の活動であることから、他の情報と併せて一元的に管理できるよう、協会の担当部署に働きかける。

(6) 代議員選出に関する要望について

- ・ 大谷氏作成の文書を確認し、一部修正した上で理事長に提出する。

第104回全国図書館大会 東京大会

図書館情報学教育部会は、第104回全国図書館大会東京大会において、次のとおり、第6分科会を開催します。ぜひご参加ください。

【日時】2018年10月20日(土) 13:45~16:45

【会場】国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 513

【テーマ】新たな司書教諭養成教育—学校司書モデルカリキュラムを踏まえて—

【登壇者】(五十音順, 敬称略)

河西由美子(鶴見大学), 野口武悟(専修大学), 平久江祐司(筑波大学)

編集担当 〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1 中央大学文学部 小山 憲司

Tel. 042-674-3731

E-mail : koyama@tamacc.chuo-u.ac.jp